

社会福祉

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学修方針（講義概要等）

人は病気になり医療を受ける際に心理・社会的な影響を大きく受ける。特に入院が必要となった場合には、家族・経済・就労といったさまざまな要因が当事者の生活に影響をあたえる。本科目では、疾病から人が受ける社会的な影響を検討し、福祉というセーフティーネットがどのように機能するのかを学ぶ。病気の部分だけに焦点を当てるのではなく、看護を学ぶ上で全人的な視点をもって人に接することを理解する。

・教育成果（アウトカム）

医療に加え、社会福祉の仕組みや役割を理解することにより、地域の人々を支える看護を包括的な視点で考えることができる。さらには、医療職だけではなく、福祉の専門職などを含めた多職種の役割や連携の重要性を理解し、説明することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 5, 6

・到達目標（SBO）

1. 日本における社会保障制度の変遷と特徴を説明できる。
2. 社会保障制度（公的扶助、社会保険、社会福祉）の意義と概要を説明できる
3. 生活保護における社会保障のしくみと内容を説明できる
4. 社会保険のしくみを説明できる。
5. 介護保険制度のしくみを説明できる。
6. 社会福祉に関わる機関や職種の活動について説明できる。
7. 地域における福祉と保健・医療の連携の必要性を理解し、包括的な支援について考えを深めることができる。

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
5/9 (火) 4 限	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授	<p>社会保障制度と社会福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活と生活保障・社会福祉との関わりを述べることができる (ディスカッション) 社会保障の目的、機能を理解し、実際の活動とつなげて考えることができる 社会保障と社会福祉のしくみの特徴を説明できる <p>事前学修：教科書 p.18-29 を読み、生活と生活保障・社会福祉との関わりについて、今までの経験から考えたことを 500 字程度にまとめ講義時に提出する</p>
5/10 (水) 5 限	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授	<p>社会保障・社会福祉の動向 (ゲストスピーカー)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本における社会保障制度の変遷を理解し、特徴を説明できる <p>事後学修：講義で取り上げた内容を復習する</p>
5/16 (火) 4 限	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授	<p>社会福祉のしくみと社会資源 (ゲストスピーカー)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会福祉を担う組織 (行政機関、民間組織等) と職種を列挙できる 社会資源を利用する意義を理解し、活用方法を説明できる <p>事後学修：講義で取り上げた内容を復習する</p>
5/25 (木) 5 限	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授	<p>地域福祉の定義と理念 (ゲストスピーカー)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域福祉の定義・理念を説明できる 地域福祉計画とは何かについて説明できる <p>事後学修：講義で取り上げた内容を復習する</p>
5/31 (水) 5 限	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授	<p>公的扶助 (ゲストスピーカー)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活保護制度のしくみと内容を説明できる 生活困窮者対策の動向について説明できる <p>事後学修：講義で取り上げた内容を復習する</p>
6/27 (火) 5 限	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授	<p>社会保険制度</p> <ul style="list-style-type: none"> 年金制度のしくみを理解し、給付の種類を説明できる 雇用保険制度の仕組みと給付について説明できる 医療保障制度 (医療保険、公費負担医療) のしくみを理解し、医療保険の体系を説明できる 労災保険制度の概要と給付について説明できる <p>事前学修：身近な人の年金制度、医療保険制度を調べてくる</p>

7/4 (火) 5限	地域包括ケア講座 松岡 真紀子 助教	介護保険制度 ・介護保険制度における要介護認定から介護サービスの流れを説明できる 事後学修：講義で取り上げた内容を復習する
7/11 (火) 5限	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授	社会福祉と看護の連携 ・社会資源の活用を理解し、地域の人々の連携したネットワークづくりがイメージできる ・地域で生活しながら療養する人と家族の健康状態や特性について情報収集できる ・社会福祉と看護の連携する場を説明できる（ディスカッション） 事前学修：今までの講義で気になった話題をあげておくこと 事後学修：住み慣れた地域で、社会とのつながりをもって「生きる」ことを支援するために、福祉と保健・医療の連携から考えたことをまとめ提出する

・教科書・参考書等

教：教科書

参：参考書

推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ健康支援と社会保障③ 社会福祉と社会保障 第6版	増田雅暢、島田美喜、平野かよ子 編	メディカ出版	2023
参	在宅現場の地域包括ケア	秋山 正子	医学書院	2016
参	「生きる」を考える	長江 弘子 編	日本看護協会出版会	2017
参	国民の福祉と介護の動向 2022/2023	厚生労働統計協会	厚生労働統計協会	2022

・成績評価方法

定期試験 70%、指定した提出課題 30% 合計 100%にて評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・参考書等を用いて事前学修を行うこと。また、授業を受けた後は該当する内容を教科書等で復習し、ポイントを整理して次回の授業に関する課題に取り組む。各授業に対する事前事後学修時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・レスポンスカード等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。
- ・試験のあとは、WebClass に必要な解説を掲載する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表 1）：保健医療福祉行政論

看護師（別表 3）：専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	DVD（ブルーレイおよび一般 DVD）再生機器	1	講義時資料投影